

あいちの印刷

11

2018.11

No.564



曾爾高原（奈良県宇陀郡）

もくじ

- 巻頭言「SDGsに取り組んでみませんか。」 3
- 2018全日本印刷文化典高知大会
臼田会長「働き方改革」を呼び掛け 4
- 全印工連:CSRマガジン「shin」vol.13
「人材戦略としての障害者雇用」を特集 5
- 全印工連ダイバーシティ推進委員会第1回視察報告
長野県の亜細亜印刷／渋谷文泉閣2社訪問 6
- 身近な催し物のお知らせ 7
- 愛印工組・技術セミナー
印刷機予防保全「予防保全の考え方と実践」 9
- 愛印工組・10月期理事会
全日本印刷文化典・高知大会の報告 10
- 愛印工組:JPPS中間講習会
JPPSの改正点、今後の取り組みをチェック 11
- 日印機工／JapanColor認証セミナー
「デジタル印刷認証」 12
- 11月は「過労死等防止啓発月間」
過重労働解消キャンペーン実施 14
- 編集だより 14

人に 社会に 想いを カタチに

O//O 愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、

これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、

独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が

あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フイルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フイルム名古屋ビル 052(201)8171 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>



Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

日ごとに厳しさを増す、短納期ニーズや品質管理要求に応える印刷の現場。

RMGT の自動化・省力化技術は人を助け、時間と労力を費やす作業を代行します。

そこで生まれる余力こそ、創造性を発揮するエネルギー。

RMGTは、技術力と創造力で、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、アシストしていきます。

そして、人が中心になって機械や技術を使いこなす世界を目指します。

リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市天白区久方 1-145-1 TEL 052-807-1671



ともに、世界へ彩りを。

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して eRCシリーズ誕生。



eRC
SERIES



ITOTEC

イトテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

本社 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495 〒484-0912
東京支店 東京都板橋区中台1-31-1 TEL 03-5920-2161 FAX 03-5920-2171 〒174-0064
大阪支店 大阪府市荒本新町3-29 TEL 06-6618-5335 FAX 06-6618-5337 〒577-0022
四国営業所 愛媛県四国中央市新宮町上山3307 TEL 0896-72-2020 FAX 0896-72-2050 〒799-0302

福岡サービスセンター 福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6 TEL 092-651-6031 FAX 092-631-1746 〒812-0051
札幌サービスセンター 札幌市中央区北一条西18-1 TEL 011-611-7221 FAX 011-611-7224 〒060-0001
新潟サービスセンター 新潟市横越中央1-11-10 TEL 025-385-2059 FAX 025-385-3701 〒950-0208
仙台サービスセンター 仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7 TEL 022-258-1758 FAX 022-258-1793 〒983-0003

巻頭言

「SDGsに取り組んでみませんか。」

副理事長 鳥原 久資

SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」という言葉が最近よく耳にしませんか。2015年の国連サミットで採択された、国連加盟国が2030年までに達成する国際目標のことです。持続可能な世界を実現していく為の17のゴールと169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。タレントのピコ太郎がこのPRのために外務省に協力しているとして一時話題になり多くの媒体でも取り上げられたと言えど記憶の方もあるかと思います。昨年の東京ビッグサイトで行われた環境の展示会「エコプロダクツ2017」でも多くの企業がこのSDGsの考えの発信をしていました。

CSR（企業の社会的責任）はようやく認知されてきました。ESG投資という言葉も耳にするようになり、企業が環境、社会、企業統治に目を向けていく姿勢が求められています。全印工連でもこれからの企業価値向上としてなくてはならないとしてCSR認定制度を設けています。ただ、CSRは理念的な要素が大きく、特に社会貢献的な部分にスポットが当たがちです。

印刷業界は日本の多くの産業界の中でも特に経営に対して真摯に取り組んでいる業界と言われている

す。一方でせっかくの地道な取り組みもなかなか認知、評価されていないのも事実です。それは自社の活動を外部に発信しない事にも要因があるのではないのでしょうか。

先のSDGsは企業活動のあらゆる部分に関係している内容です。例えば12番の「つくる責任 つかう責任」はまさに我々の事業活動そのものです。SDGsの考え方を自社の強みと組み合わせで見直し、会社の活動を活性化させて発信しては如何でしょうか。企業の大小に関わらず整理できますし、小さい会社ほどこうした発信は評価されると思います。また間違いなく会社の独自化につながると思います。

学生さんをはじめとする若い人たちの多くは、こうした活動に関心を持っています。いまは理念経営の時代。かつてのマーケティングやブランディングといった捉え方とは違い、企業活動に結びつけやすいSDGsの考え方はまさにうってつけです。行政や会議所そして教育現場もこのSDGsの考えを取り入れていこうと動き出しています。情報発信に関わってきた我々だからこそ、自社の独自化の新たな形としてSDGsを企業活動に取り入れてはどうでしょうか。

『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

印刷情報管理システム



P-MAN Business e-Brain
Print Manager

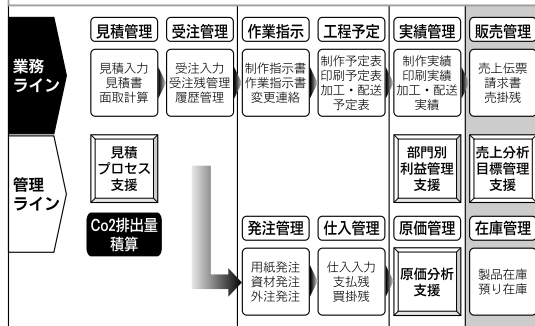
見積・受注・制作予定・印刷予定・加工／配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』

『今こそ！！情報の見える化（MIS）』

印刷CO2排出量算出見積積算機能が追加されました！



株式会社 **モトヤ**

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 TEL. 06-6261-1931
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5 TEL. 03-3523-8711

2018全日本印刷文化典高知大会

臼田会長 「働き方改革」を呼び掛け

全国の印刷人540名が印刷の未来を語り合う 江口・鬼頭・田中・江端・鈴木の各氏が組合功労賞を受賞



全日本印刷工業組合連合会(臼田真人会長)の「2018全日本印刷文化典高知大会」が10月5・6の両日高知市の三翠園で開催され全国から組合員540名が参加した。席上臼田会長は、2018年を「働き方改革元年」とした上で、「働き方改革は、勝つための経営戦略であり、まずは経営者の決断が必要。制度設計を含めて各社の具体的な取り組みを支援していく。一緒に改革をやりましょう」と呼掛けた。また、表彰式では、愛印工組から江口・鬼頭・田中・江端・鈴木の5氏が組合功労者表彰を受けた。

■記憶に残る土佐大会に！

記念式典は、初めに四国地区印刷協議会奥田章雄会長が、「四国開催は、2004年の香川大会以来14年ぶりになる。この間、印刷業界も大きく変わった。今大会のテーマは、『土佐で語ろう 印刷の未来』である。どんな未来を描くか共に語りたい」と開会の挨拶。続いて、開催県を代表して高知県印刷工業組合酒井陽典理事長が、「印刷業界を取り巻く環境は依然として厳しい。この厳しい状況の中で方向を見極めることは非常に困難であるといわざるをえない。そのような中でも状況に応じて進む道を見極めていかなければならない。印刷には、伝える力、見せる力、デザインの力、生み出す力などがある。これらの力に加えてこれから必要な新しい力、それは、印刷の未来について情報を交わし共に語り合い、未来に向けて種をまき、進むべき方向を示すヒントを得ることができる大会になるよう準備を進めてきた。高知県の言葉に『自由は土佐の山間より』になぞり『未来は土佐の山間より』と、皆さん

の記憶に残る大会にしたい」と歓迎の言葉を述べた。

次いで、主催者を代表して臼田会長が挨拶に立ち次のように述べた。「全印工連では、HappyIndustry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業をブランドスローガンに掲げ、印刷産業の向かうべき方向性を共有し、人々の幸せを創り続ける印刷産業を実現するための諸事業に取り組んでいる。少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、育児や介護の両立、働き手のニーズの多様化、長時間は正に向けた生産性の向上など、働きがいのある人々を惹きつける印刷産業の確立は急務であり、全印工連では、プロジェクトチームを立ち上げ幸せな働き方改革への取り組みを進めることにした。これは、組合員企業の従業員がやりがいを持ち、安心して働き続けられる職場づくりによって、新たな付加価値を創造し顧客満足度を高め、組合員企業の業績向上につなげることが目的である。高知の地においてHappinessCompanyを目指してほしいと願っている」と訴えた。

来賓祝辞では、吉川雅之経済産業省四国経済産業局長、中谷元衆議院議員、岩城孝章高知県副知事(尾崎正直知事の祝辞を代読)が祝辞を述べた。

表彰に移り、平成30年度印刷産業発達功労者顕彰は大迫三郎氏(全印工連相談役、宮城県工組顧問、㈱宮城南印刷代表取締役会長、四橋英児氏(全印工連参与、岐阜県工組常任理事、ヨツハシ㈱代表取締役社長)に贈られた。また、組合功労者表彰は全国の工組から75氏、優良従業員表彰は同じく70氏が表彰された。ちなみに愛印工組からの組合功労者表彰は以下



江口豊隆 氏



鬼頭則夫 氏



田中賢二 氏



江端茂義 氏



鈴木正 氏

の各氏。

江口豊隆(江口印刷㈱代表取締役)

鬼頭則夫(鬼頭印刷㈱代表取締役)

田中賢二(神田印刷工業㈱代表取締役)

江端茂義(大信印刷㈱代表取締役社長)

鈴木正(中部シーリング印刷㈱代表取締役社長)

受賞者謝辞は、大迫三郎氏が代表して行なった。

続いて、高知県工組青年会の中島大輔会長の先導で印刷文化典宣言を採択し、筒井善樹実行委員長(高知県工組副理事長)が閉会の辞を述べ記念式典は終了した。

引き続き行なわれた全印工連メッセージでは、臼田会長が働き方改革の考え方について触れ、「労働人口減少問題は、中小企業にとって死活問題である。働き方改革は、会社の魅力化プロジェクトである。どのような魅力を持ち業績向上を図っていくか。私たちが勝つためには経営戦略として捉え、まだ力のある内に取り組みなければならない。2018年は働き方改革元年である。全印工連事業の柱として展開していきたい。具体的な取り組みを全印工連は支援していく。皆さん、一緒に改革をやりましょう」と訴えた。

記念講演会では、高知市出身で直木賞作家の山本一力氏が「刷ればこそ」をテーマに講演した。氏は講演の中で、活字が兼ね備えている言葉の「魂」について語り、出版や印刷に携わる人々の責任について持論を展開した。

記念パーティーは、土佐らしい趣向を随所に盛り込み会場の雰囲気盛り上げた。次期開催地挨拶では、長野県工組メンバーが横断幕とのぼり旗を持って登壇。藤森英夫理事長が「再来年の2020年10月30、31日に軽井沢プリンスホテルをメイン会場に開催する」とPRした。

翌6日に行なわれた全印工連フォーラムは、今年度立ち上げた幸せな働き方改革プロジェクトチームの推進する「幸せな働き方改革」の実現に向けてのステップ2となる「目標・計画設定」について、㈱ワーク・イノベーション代表の菊地加奈子講師が事例やワークショップを交えながら解説した。



全印工連「CSRマガジン」[shin] vol.13
「人材戦略としての障害者雇用」を特集
CSR認定企業では
西日本印刷工業と太陽堂封筒を紹介

全日本印刷工業組合連合会が発行するCSRマガジン「shin」vol.13が刊行された。

今号の特集では、「人材戦略としての障害者雇用」を取り上げ、「障害者雇用はもはや福祉の文脈で語るのではなく、企業の『戦力』として活用できるか、その人材活用のノウハウを持つことができるかという人材戦略の文脈で語る必要がある。『生産性』だけの議論に陥ることなく、視野を広げ、多様な人材がそれぞれの個性を活かして活躍できる場を創造していくことは、日本が世界をリードする真の先進国として発展していくだろう」と指摘している。

全印工連CSR認定企業訪問では、西日本印刷工業(太田和宏社長、福岡県福岡市)と㈱太陽堂封筒(吉澤和江社長、東京都新宿区)を訪問。CSRトピックスでは、CSR認定のスリースターに㈱日進堂印刷所(佐久間信幸社長、福島市)が認定されたことを紹介。スリースター認定企業は、アインズ㈱(滋賀県蒲生郡)、新日本印刷(名古屋市中)、ユニバーサルポストグループ(広島市)、㈱日進堂印刷所の計4社となった。その他、働き方改革関連法成立、外国人材受入れで業種別方針策定へ中小企業の深刻な人手不足に対応、厚労省の立入り調査で45%が違法残業などの話題を載せている。(CSRマガジン「shin」は、全印工連ホームページからダウンロードできます。)

四六半裁

OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

オリバー480SD
四六半裁4色印刷機

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都東区福住2-2-9
TEL.(03) 3643-1131 (代) FAX.(03) 3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 35-2551 (代) FAX.(0575) 35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川(東3-1-31)
TEL.(06) 6308-6651 (代) FAX.(06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092) 741-2672 (代) FAX.(092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 33-1260 (代) FAX.(0575) 33-1346

JAB
CERTIFIED
ISO 9001:14001 認証取得
生産技術本部

長野県の亜細亜印刷／
渋谷文泉閣2社訪問ダイバーシティは身近な課題解決
から取り組んでみる

鈴木裕香

全日本印刷工業組合連合会ダイバーシティ推進委員会
鈴木美術印刷(株)代表取締役

見学会参加の皆さん(亜細亜印刷で)

全日本印刷工業組合連合会(全印工連)ダイバーシティ推進委員会(小野綾子委員長)では、9月14日長野県長野市の亜細亜印刷(株)(藤森英夫社長)の本社工場と(株)渋谷文泉閣(渋谷鎮社長)の柳原事業所を訪問した。それぞれの工場で印刷と製本作業を見学したほか、人材育成・人材活動など両社の取り組みを学ぶとともに、ダイバーシティ経営の実戦に向けたヒントを収集した。この報告記を鈴木美術印刷(株)の鈴木裕香社長から寄稿いただいたので掲載する。なお、誌面の都合で前半を亜細亜印刷(11月)、後半を渋谷文泉閣(12月)に分けて掲載する。

多様な人材活用を目指して！

ダイバーシティと聞いて、お台場にできた新しい商業施設と思われる方や耳慣れない言葉に抵抗を感じる方もいらっしゃると思います。ダイバーシティとは“多様性”という意味で、ダイバーシティ経営とは、少子高齢化による人手不足をさまざまな属性(年齢・性別・国籍etc.)をもった人に活躍してもらい、会社をうまく運営していこうという考え方です。国が推進する“働き方改革”はその入口になります。

ダイバーシティ推進委員会の前身は、女性活躍推進委員会でしたが、一昨年から守備範囲が広がりました。昨年はダイバーシティ 100選に選ばれた会社の見学、自社にとってダイバーシティをどう捉えるか考えて行動計画を作ってみる、といった取り組みをしました。その成果が『働き方改革』にまと



整理整頓がされた印刷工場

められています。

今期のメンバーは、仙台・山形・東京・神奈川・名古屋・大阪・宮崎の各都市から集結し、①ダイバーシティの浸透度を測るために配布したアンケートを実施、②同じ業界でダイバーシティを活かした経営をされている会社の視察、③東京開催になりますが、委員会メンバーの実体験をもとに取り組みを紹介するセミナー、などの開催を計画しています。活動を通して、どこの会社でも直面している身近なこと、他社の取り組み事例を知ることは参考になるなと感じています。所属地域にダイバーシティの考え方を普及したり、どう取り入れるのかを紹介する役割も担っています。

今回は、去る9月14日(金)に長野市にあります亜細亜印刷(株)と(株)渋谷文泉閣の2社の視察を行ないましたので、その様子をご紹介します。この2社を選んだのは、亜細亜印刷さんでは、技能五輪大会の印刷部門で、女性オペレーターが金賞を受賞した他、翌大会にも選手を輩出しており、若者や女性の活用に積極的に取り組んでいるのはどんな会社なのか。また、渋谷文泉閣さんでは、クータ・バインディング(手で押えなくても閉じない製本)を考案した製本会社であり、同社の技術者の年齢層に偏りが無いのはどうか。何か理由があるのではと興味を持ったからです。

■ 亜細亜印刷(株)

書籍に特化する専門性の高さ

会社の概要や業務内容について、藤森英夫社長から伺いました。同社は、1963年に設立。学術書や専門書などの書籍印刷に特化。社員80名のうち女性が半数以上。

長野県は養蚕が盛んで、古くから女性を働き手として活用する土壌があり、戦時中東京の印刷会社ができなくなった教科書の印刷の依頼を受けたのがはじまり。活版から電算写植に代わった時に同じ人が携わることで、活版のノウハウをいかしたキメ細かいものづくりが出版社に重宝がられたとのこと。書籍づくりは時間がかかり、長いものだと15年というものもあるそうです。

電子書籍が台頭していますが、画面は“見る”に対して、紙

面は“読むと考える”と脳の働く部分が異なるという研究結果もあるそうで、紙の書籍の存在意義はあり、「この本を世に出したい」という使命感と誇りを持って取り組んでいるそうです。それを職場に丁寧に浸透させている藤森社長のお話が印象的でした。商業印刷を一切されず、書籍に特化しているという専門性の高さが、スタッフのプロ意識を高めていると感じました。

早速案内された電算部では、整然とした机上のモニターで作業を進めている女性社員が多いという印象を受けました。原稿は顧客からの預かりものなので保管庫から都度作業机に運んできて作業をして、終わったら戻すことを徹底しているそうです。モニターが直射日光で反射しないよう、紙の障子を通した自然光を取り入れることで、明るく、気持ちが落ち着くようにと配慮された執務環境でした。

印刷課8人中3人が女性

次に8月に新しく導入された印刷機のトレーニングが行われている印刷工場へ。8:30からと13:30からの2交代制。早朝と夜間の時間は、機械を回すことに集中。残業はできるだけないようにして、早番と遅番の人が重なる時間帯は引き継ぎを含め、紙積み断裁などの時間のかかる準備作業にあてるといった効率的な仕事環境を作っています。

印刷機械オペレーターに女性がいることが特別なこと、という雰囲気はまったくなく、印刷オペレーター＝男性という既成概念は取らなければならないと思いました。男女関係なく、大きな印刷機を回しており、女性であっても紙積みをしているそうです。

技能五輪で金メダルを獲得した原山さん（旧姓伊東）、敢闘賞を受賞した早瀬さん、華奢な体で、新しい機械にも全く動じず機械を操る姿が格好良く、隣で4色機を操作していた21歳の女性も原山さん、早瀬さんに憧れて電算部から印刷部への異動を志願し、技能五輪を目指して日々健闘中。原山さんは11月に出産を控えているにもかかわらず、新しい機械が気になって入社4年目の女性オペレーターを育成するため出社されていました。

原山さんの活躍は他の女性オペレーターの憧れかつ目標になっており、意欲のある女性を会社が全面的にバックアップし

●身近な催し物のお知らせ

H30年11月10日以降の事業

開催日時	事業・行事、場所、備考	
平成30年 11月20日(火) 15時00分～ 16時45分	事業名	助成金説明会
	講師	愛知労働局「あいち雇用助成室」 野田 博氏 他
	場所	メディアージュ愛知 3階会議室
	参加費	無料
	備考	※詳細は開催案内をご覧ください。
平成31年 1月16日(水)	事業名	平成31年新春 新年互礼会
	講師	作道 孝行氏(大阪府印刷工業組合 理事長、作道印刷㈱ 代表取締役)
	場所	名古屋東急ホテル
	参加費	組合員:13,000円(新春講演会含) 一般:16,000円(新春講演会含)
	定員	※新春講演会のみ、または懇親会のみ参加も可能です。 ※詳細は同封しました開催案内をご覧ください。
平成31年 1月22日(火) 18時30分～	事業名	後加工セミナー
	場所	メディアージュ愛知 3階会議室
	定員	40名
	備考	※詳細決定次第ご案内いたします。
平成31年 2月8日(金)	事業名	CSRセミナー
	場所	名古屋国際センター 第3研修室
	備考	※詳細決定次第ご案内いたします。

て世界に通用する代表選手に育て上げる環境がありました。

最初の女性オペレーターが後輩のよい見本になり、道を作っていると感じました。逆に後輩たちへのプレッシャーにならないよう工夫する必要があるかもしれない。

印刷工場の床は足腰に優しい木製。湿度管理に適しているだけでなく働く人にとって優しい環境が整えられており、明るく掃除も行き届いていました。

案内担当の女性は7年目の営業補佐兼生産管理部の責任者で全工程を非常によく把握していて、テキパキと対応していました。外部からの問い合わせ電話も多い部署、電話対応は女性の方が柔らかくコミュニケーションも円滑だと意識しているとのことでした。

藤森社長は、旅先の沖縄での雇用環境を憂い、働く場所を求めている人々に、正社員として働ける場を提供して安定した生活をさせてあげたい、との想いから沖縄に支社を立ち上



Giving Shape to Ideas

真のプロダクション印刷システム AccurioPress C6100/C6085



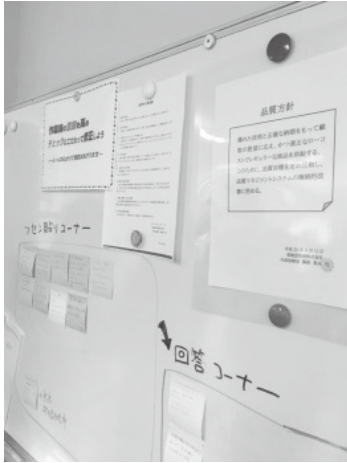
- 色管理・表裏見当調整を自動化
- 用紙厚によらず毎分100枚※1の高速出力
- 受注幅を拡大する400g/m²の厚紙対応
- 多彩なインラインフィニッシャー群

※1:C6100にて、A4ヨコ・52～400g/m²紙時
*写真はC6100にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社

PPG営業統括部
西日本営業統括部 営業1部

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F
TEL.052-229-4624 <http://konicaminolta.jp/pr/odp>



改善伝達ボード



目標をオブジェで表現



げました。遠隔地でもできるDTPオペレーターを採用。応募者が殺到する中で現在女性スタッフ7名を正社員（うちシングルマザーも複数人）として雇用。印刷を伴わない仕事は全部ここに集中させる予定とのことでした。

改善伝達ボード

ホワイトボードに要望や改善提案を書いた付箋を貼って、意見を交換しあうコーナーがありました。伝え忘れも防げ、質問する側も気軽に書けるし、回答もホワイトボードに貼られることにより社員間で共有できる。無記名だがおのずと誰が書いたか手書き文字や状況によりわかる。皆がフラットな関係でないと意見を出すのは難しいと思われ、社歴や技能にとらわれない多様な物の見方、考え方ができる社風が育っている表れと感じた。

様々な意見が貼られており、記載内容は仕事の工程に対する改善要求や小さな気遣いを求める内容まで多岐にわたっています。例えば、「作業時の意識を高めチェックにこだわって検証しよう」と書いてある。またその下には、「メールが入っていました、とメモ書きが机の上に置いてあることがあるが、そういう時は、メールの打ち出しも置いてほしい」などの要望や改善提案が書かれている。9枚の付箋が貼ってあって回

答は2枚貼られていた。ただ反対に回答コーナーの付箋の数は少なく、またどれに対する回答なのか一読では判別しづらかった。自社でも直ぐに取り組みそうだと感じました。

目標をオブジェで表現

各部署で目標をオブジェにして飾っており、それを見て各自やるべき事を常に意識するという取り組みです。

電算課では、一人ひとりが技を磨き輝くダイヤモンドになるという目標を折紙で作ったダイヤモンドで表現しています。印刷課にはミニチュアの4色機と共に各自の目標が書いてある本から、グリーンプリンティングのマークが芽生えているオブジェが飾られています。字面で、目標を理解するより、各課で話し合い、手先を使って物をつくる作業や、常に目にすることで、目標達成意識を定着させるよいアイデアだと思いました。

仕事の中にも楽しめることを盛り込まれているというのでしょうか、年間の目標に沿ったオブジェを各部署で作成し、要所に掲示、飾ってあるのを見てコミュニケーションの大切さや仕事をする楽しさを教えていただいていると思った。

地域の清掃も年2回行っており、環境美化への意識を高め、社員で協力し清掃ボランティア活動を行ない、地域に少しでも貢献している。

アジア活版資料館

最新鋭の機械を導入しつつ、2004年に設立された「アジア活版資料館」など、書籍づくりのための活字やその印刷にかかわる貴重な機器類が展示され、まさに温故知新である。印刷の歴史を大切にする姿勢を、知的財産を共有できる場を提供することで体现されている。大量の活字が棚一杯に整えられており圧巻。

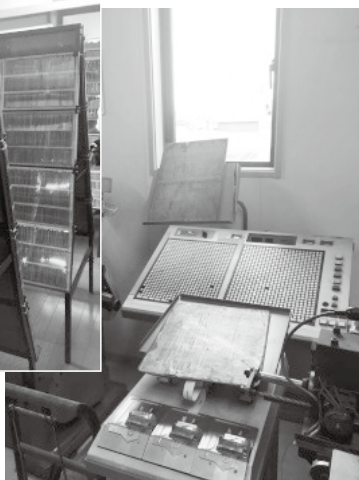
見学中「活字を処分してしまったよ」と話される見学者もあれば、昨年「活版FARE」など盛況なイベントもあり、レトロでニッチになってしまったが、印刷の魅力は損なわれていないという事を改めて感じた。印刷文化をとても大事にされているところが印象的でした。

地震で棚が倒れて活字がバラバラになり専門職の人が2年かけてもとにもどした。シュリンク加工をかけて保管されている。



活字棚(上)と
モノタイプ(右)

アジア活版資料館





□愛印工組・技術セミナー

印刷機予防保全

「予防保全の考え方と実践」

愛印工組マーケティング・人材育成委員会（久野彰彦委員長）では、9月29日メディアージュ愛知3階会議室で「技術セミナー」を開催した。セミナーは、リョービMHIグラフィックテクノロジー㈱（RMGT）営業本部サービス統括部の中居哲哉課長を講師に、「印刷機の予防保全『予防保全の考え方と実践』」について行なわれた。

中居講師は、「厳しい環境の中、印刷企業には、品質の安定化、生産性の向上、コストの削減を図り、企業の利益向上を図ることが強く求められている。特に、印刷現場における印刷機の予防保全は、印刷トラブルや機械故障を予知・予防し、適切に対処することで、生産を計画通り進めるための重要な手段となる」とした。そして「予防保全における保全とは、安全あるいは安定した状態に保つこと。であり、予防保全は、計画的にメンテナンスを行ない、突発事故を防止することになる。これに対して、事後保全という言葉があるが、これは、故障発生都度修理を行なうこと。で、予防保全とは明らかに違いがある」と指摘する。

さらに、印刷を安定させるためには、「①印刷環境の安定、②印刷機の安定、③印刷作業の安定」の3つを上げ、具体的に、「①では、印刷現場の3Sを徹底する／温湿度を管理する。②では、印刷機の3Sを徹底する（ローラー、シリンダー、爪、その他）／定期的なメンテナンスを徹底する（給油、ローラー圧、その他）／劣化部品の交換。③では、作業を数値化／作業の標準化する」などが重要とした。また、印刷現場の3S「整理・整頓・清掃」も欠かせない必須項目で、整理とは、「必要なもの

と不必要なものを区別して、不要な物は捨てる」。整頓とは、「必要なものがすぐに取り出せるように、置き場所、置き方を決め、表示を確実にこなう」。清掃とは、「掃除をして、ゴミ、汚れのないきれいな状態にする、そして同時に細部まで点検する」などを上げ、オペレーターとして心得ておくべきポイントを説いた。



□愛印工組・営業社員向け研修

印刷営業講座

愛印工組教育委員会（磯貝健委員長）では、平成30年度「印刷営業講座」を、10月5日を皮切りに、6日、12日、13日の4日間にわたりメディアージュ愛知3階会議室において開催した。5、6、12の3日間は宮本泰夫氏（㈱バリューマシンインターナショナル）、13日は高見隆登氏（一般社団法人経済調査会）を講師に招き行なわれ、宮本講師は、「メディアリテラシー／印刷関連技術の基礎知識／営業活動の基本／コンプライアンス／セールス&プロデュース／グループワーク」について、高見講師は、「見積積算概説、見積計算演習」について、それぞれ解説を行なった。

この講座は、平成29年に「印刷営業講座」のカリキュラム及び「印刷営業技能審査認定試験」の試験内容がリニューアルされたことから約10年ぶりに復活したもの。印刷営業技能審査認定試験（通称：印刷営業士認定試験）の事前講習的な位置付けになっている。受講した人は10月27日行なわれる「印刷営業技能審査認定試験」が待っている。これをクリアすれば、晴れて「印刷営業士」の称号が得られる。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
 先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
 “満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
 「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

全日本印刷文化典・高知大会の報告

「ダイバーシティ経営」

アンケート調査の協力依頼

愛印工組の平成30年度10月期理事会が、10月19日午後4時より、メディアージュ愛知3階会議室で開催された。理事会は、各委員会および支部の活動報告、全日本印刷文化典・高知大会の報告、全印工連ダイバーシティ推進委員会の報告などが行なわれた。出席者は25名。

理事会の冒頭挨拶に立った細井理事長は、最低賃金に触れ、「10月から最低賃金も若干上がり、名古屋も898円になった。一番安いのが鹿児島島の761円で、137円の差が有る。東京は985円と、関東圏は、1000円に近くなっている。ただ聞いていると米の飲食店でも1000円では人が集まらない。1300円ぐらいにしないと人が集まらないということで外食産業も苦労している。皿洗いのアルバイトとかも、勿論自動食器洗浄機はあるが、食器洗浄機に入れる人間が集まらないのでかなり皆さん大変な思いをしている」としたうえで、厳しさを増している求人状況に触れ、「求人をしてなかなか良い人材を選べる機会が無い。やはり、差別化をして良い人材を見つけるしかない。自社の一番売りのところを他社と差をつけていく。それも他社が躊躇するぐらいの差別化をしないと格差にならない。極端な話、休日を150日にすると優秀な人材がくる。あるいは、会社によって保養所とかを売りどころにしている。何かあると良いが、今は、休日と給料である。ただ、そういった差を微妙に付けているだけでは一流企業には勝てないので、頭を使って差別化を図っていくことが必要だと思う。

全印工連でも組合員をどう増やしていくか、引き止めていくかという話も出ていた。全印工連はいろいろところで差別化をしている。例えば、アドビのソフトが日本で一番安く買える。共済は皆さんの持ち寄ったお金であるから、金額的には3分の1ぐらいで加入できる。組合を上手に使い、人材を集めて、業界が全体的にボリューム感が出るように、是非レベルを上げていきたい」と述べた。



10月期理事会のよう・挨拶する細井理事長

次いで、細井理事長を議長に議事に入り、冒頭、加入・脱退について、加入2社、脱退3社が報告された。新規加入は、あいち印刷㈱（岡崎）、㈱サイパート（東南）の加入が承認された。現在の組合員数は213社、賛助会員は23社。

平成30年度各委員会活動及び実施事業では、次のように報告された。

三役直轄事業では、木村吉伸副理事長が親睦ゴルフコンペについて、9月11日、セントフリークゴルフクラブで69名の参加で行なわれた。また来期も開催予定とした。次いで、鳥原久資副理事長が、第9回ポスターグランプリについて触れ、作品展は11月13日～18日名古屋市民ギャラリー栄。11月18日にホテルオークラレストラン名古屋で表彰式を行なうと報告が行なわれた。

ブランディング委員会事業では、鳥原副理事長が10月26日、中京大学で「中小企業経営者と学生との交流会」、名古屋市立工芸高等学校での進路相談会での講演、冊子「初めてのブランディング」（仮称）の制作などを報告。

CSR・ダイバーシティ委員会事業では、近藤起久子副委員長が、8月3日ダイバーシティ実践企業㈱吉村の見学会、7月21日MUD教育検定3級、10月2日JPPS認定制度中間講習会の実施、今後の計画として平成31年2月8日CSRセミナー、平成31年2月～3月頃にJPPS認定制度説明会の実施予定などを報告。

経営革新委員会事業では、野々村昌彦委員長が10月23日の経営セミナー、平成31年2月頃に企業見学会を予定しているが詳細は検討中であるとの報告。

マーケティング・人材育成委員会では、久野彰彦委員長が

盛功社の創業は1889年。2018年に130周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料



株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

240線から340線、FMスクリーンの
高画質高精細印刷を標準稼働中!!
価格は175線と同額

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代) ☎
FAX 0564-62-8463

大日印刷

検索

9月29日に行なった印刷機予防保全セミナーについて報告。今後の実施計画として、印刷の後加工セミナーとマーケティングセミナーを行なうことが挙げられた。

教育委員会事業では、松岡祐司副理事長が8月3日に行なったテクニカルセミナー夏の陣、8月25日の印刷技能検定（オフセット印刷作業）学科試験対策学習会、9月28日の合否結果について触れ、技能検定では「1級技能士」2名、「2級技能士」4名が取得したことと、10月5日から4日間にわたり行なった印刷営業講座の結果について報告。さらに、10月27日の印刷営業技能審査認定試験、平成31年1月12・26日に行なうプリプレス技能検定（DTP作業）学科試験対策学習会、実技試験について詳報した。

労務・新人教育委員会事業では、堀裕史委員長が8月26日の従業員・家族合同レクリエーション大会には132名29社が参加したと報告。今後の実施計画は、11月1日永年勤続優良従業員表彰、11月20日助成金説明会の実施に触れた。

組織・共済委員会事業では、松本高武委員長が9月28日に愛知県庁で、愛知県会計局との間で入札参加条件、知的財産権の取り扱い、GP制度、ネット通販など意見交換と確認を行なったと報告。また、共済制度加入促進運動を実施中であり、各支部での協力と支援を要請した。

青年部事業では、富田章裕担当理事が11月19日愛印工・而立会共済事業について報告をした。

次いで各支部活動報告が行なわれた。東北支部・前崎正太郎支部長、西支部・宇佐見参良支部長、中村支部・北川毅支部長、中支部・江口豊隆支部長、熱田支部・鬼頭則夫支部長、東南支部・萬谷達俊氏、知多支部・渡邊茂央支部長、西尾張支部・森俊一郎支部長、東尾張支部・加藤義章支部長、岡崎支部・岡田邦義支部長、東三河支部・森亨支部長がそれぞれの支部における活動状況を披露した。

報告事項では、細井理事長から「10月5・6の両日高知県で全日本印刷文化典・高知大会が開催された。全国から526名が参加した。席上、組合功労者表彰があり、当工組から江口豊隆理事、鬼頭則夫理事、田中賢二理事、江端茂義理事、鈴木正監事の5氏が表彰された。また、臼田真人会長から全印工連メッセージが発表され、Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業～の説明があった」と報告した。

最後に、近藤起久子全印工連ダイバーシティ推進委員から「ダイバーシティ経営についてのアンケート調査」への協力要請がされた。

愛印工組:JPPS中間講習会

JPPSの改正点、 今後の取り組みをチェック



愛印工組のCSR・ダイバーシティ委員会（山田慎二委員長）は10月2日午後1時30分より、メディアージュ愛知3階会議室で、JPPS取得企業を対象に「2018 JPPS中間講習会」を開催した。講師はSME Support代表の金子一美氏を招聘。参加者は9社13名。

講習会の席上金子講師は、「名簿などに限らず、営業顧客データ、社員データなど個人情報を1件でも持っていたら個人情報保護法の対象事業者になる」とした上で、「皆さんは差別化を図るためにJPPSを取っていると思うが、JPPSは自社を守るためのものであり、下請けからの流出も自社の責任になるので、下請けもしっかり管理する必要がある」とした。

個人情報保護で従業員へ周知することとして、「①個人情報保護体制を守ることの重要性と利点。②個人情報保護体制を守るための役割と責任。③個人情報保護体制に違反した際に予想される結果」の3項目をあげた。「①と②では、ルールを理解して、ルールを守ることが従業員の役割と責任であり、それによりお客様からの信用が得られる。経営者・経営陣は従業員に個人情報保護の重要性を理解させる。個人情報管理責任者としては、個人情報を守るためのルールを従業員がきちんと守っているか確認し記録を残す。③の違反した際に予想される結果としては、会社としては、お客様からの信用の失墜、取引の停止、お客様から損害賠償請求、原因の追究と改善対応、改善のための業務停止などの可能性がある。従業員に対しては、会社からの損害賠償請求、懲戒解雇、家庭崩壊、刑事告訴（故意に持ち出した場合）などの可能性がある」などを指摘した。

**特色データ管理システム(13000色以上)を構築し
特色印刷No.1を目指しています**

**青札加工機6台に加え、最新大型荷札加工機を名古屋工場に導入！
さらにUVインクジェット印刷で、小ロット名入れ印刷も可能！**

Computer to film Computer to plate Computer to press

印刷ステーション
DAIKYU

株式会社 太急 〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
TEL.052-262-0555 FAX.052-262-1043
関連会社/ 関太急・関山川

- OFFSET PRINTING
組合印刷
- UVインクジェット印刷
厚紙・薄紙・小ロット名入れカラー印刷
- POST CARD・ENVELOPE
名刺・セキ・封筒・封筒印刷・インクジェット
- SEAL・青札加工
シール印刷・青札印刷加工

名古屋工場 北千代田工場
関太急 関山川

紙でご愛顧70年

印刷用紙専門商社
メイカミ
名古屋紙商事株式会社

社長 鬼頭正二郎

名古屋市東区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221代 FAX.052-932-1418
豊山配送センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL.(0568) 39-0501

印刷品質の安定と生産性向上を目指すJapanColor認証制度

「デジタル印刷認証」

一般社団法人日本印刷産業機械工業会（日印機工）は、9月28日名古屋駅前のウインクあいちで、JapanColor認証セミナーを開催した。JapanColor認証とは、オフセット印刷の標準色であるJapanColorをもとに認証する制度で、現在、オフセット印刷の標準印刷認証、マッチング認証、プルーフ運用認証、プルーフ機器認証、デジタル印刷認証の5つの認証制度がある。今回のセミナーでは、昨年からはまったデジタル印刷認証のさら

なる普及を図るとともに、認証取得のメリットと取得のコツをわかりやすく、事例を交えて解説が行なわれた。また、セミナー受講者限定で、標準印刷認証とデジタル印刷認証の「3ヵ月集中取得支援パッケージ」が用意された。当日は、日印機工から広常猛部長、大久保寿男課長が出席し説明に当たった。（※編集部：本稿では誌面の都合で「デジタル印刷認証」を主にその概要を報告する）。

「3ヵ月集中取得支援パッケージ」を用意

■JapanColor認証制度のメリット

JapanColor認証制度の取得は、品質や生産性の向上につながる様々なメリットから、企業体質の強化を図ることができる。

①企業イメージの向上……ISO準拠の認証を取得することにより、印刷物及びプルーフを作成するうえでの高い能力を、日本国内のみならず海外にもアピールができる。

②印刷品質の安定……標準化により、品質の安定した印刷物がスピーディに作成できる。

③コストダウン……標準的な印刷条件を基準に印刷すれば、損紙は減少しインキ使用量が削減でき、生産性向上につながるるとともに、経費削減を実現できる。

④スキルアップ……標準化を全社的に進めることにより、社員のスキルアップができる。

⑤取引上の利点……印刷基準が顧客との取引条件や入札条件などになった場合、有利に取引を行なうことができる。

ちなみに、現在のJapanColor認証取得企業数は以下のようになっている。標準印刷認証211工場、マッチング認証49工場、プルーフ機器認証106件、プルーフ運用認証82件、デジタル印刷認証20件と着実に取得企業が増えている。（9月20日現在）

■認証制度の概要

□標準印刷認証……印刷機械のメンテナンスと数値管理などによって、安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力について認証する。対象：印刷会社。

□マッチング認証……標準印刷認証を取得していることを前提に、高度なカラーマネジメント技術を駆使して、印刷物の色を基準値の許容幅に適合させることができる能力などについて認証する。対象：印刷会社。

□プルーフ機器認証……信頼性の高いプルーフを安定的に出力できる能力を持ったプルーフ機器自体を認証する。対象：プルーフ機器メーカー、ベンダーなど。

□プルーフ運用認証……このプルーフ機器を実際の現場で正しくメンテナンスし、適正に運用することにより、印刷用途に使用できる信頼性の高いプルーフ（見本出力物）を安定的に出力することができる能力などを認証する。対象：デザイン会社、印刷会社。

□デジタル印刷認証……デジタル印刷機のメンテナンスと数値管理などによって、高品質の印刷物を安定的に作成できる運用能力について認証する。対象：印刷会社。

■IGAS2018パネルディスカッション

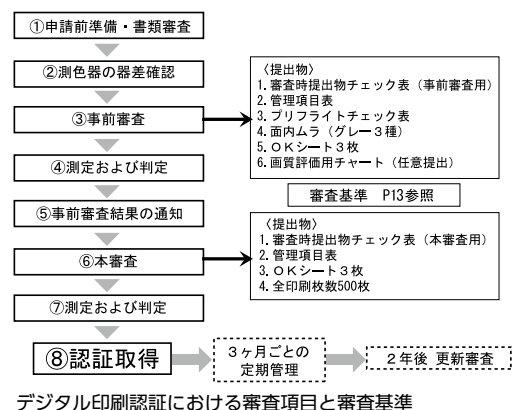
IGAS2018の会期中、JapanColor認証制度についてのパネルディスカッションが行なわれ、認証取得企業の事例が報告された。以下、主だったものを紹介してみる。

○インターネットを活用して仕事を依頼する顧客は、色品質に関して不安を持っていることが多いが、「認証制度を取得している」ことがわかると安心感を持ってくれる。

○数値化された基準で品質を管理できるようになり、オペレーター判断によるブレやばらつきがなくなった。また、測色器の使い方さえ覚えれば、経験の浅いオペレーターやアルバイトでも管理ができる。

○協力会社も認証を取得したことによって、離れた場所にいながら同じ品質基準を持つことができた。

○メーカー任せだったプロファイルの作成と運用ができる



ようになったことで、管理レベルの水準が上がった。

○認証制度の基準は数値化されているので、自社の品質管理を行なう上で、目標値として活用がしやすい。定期管理などで目標値から外れていることがわかると、すぐにプロファイルなどの見直しを図ることができる。

■デジタル印刷認証制度の概要

【デジタル印刷認証の内容】

1) JapanColor2011を基本として、オフセット印刷に対するデジタル印刷の再現近似値を実現できる運用能力について認証する。

2) 認証は工場単位で行なうが、実際に審査する対象は申請するデジタル印刷機1台とする。

3) 印刷前工程のワークフローについても審査対象とする。(プリフライトチェック審査)

4) 認証基準としてISO TS15311-1を採用しISO準拠とする。

5) ISO TS-15311-1の評価項目のうち、色再現性などについては、マッチング認証などでの実データの審査があるため、統計手法などにより基準値の目安を求め、実証実験(テスト印刷)で妥当性を検証し決定する。

6) 色差式は、従来のCIE1976(L*a*b*)ではなく、CIEDE2000を採用する。

【認証審査手順】

認証審査は標準印刷認証に準じるが、事前審査としてOKシートの印刷によるプリフライトチェック審査がある。また、標準印刷審査のように現地確認は実施せず、デジタル印刷機によるOKシート500枚の印刷物を事務局に送付し、事務局がそのうちの15枚を無作為に抽出して審査判定を行なう。

【有効期限】

デジタル印刷認証の有効期限は2年間。標準印刷認証と同様に3ヵ月ごとの定期管理を更新条件としている。2年ごとの更新審査に合格しない場合は認証取り消しとなる。

【費用】

認証にかかる費用は、事前審査料108,000円+本審査料

審査項目		審査基準
プリフライトチェック	プリフライト結果	エラー／警告／情報を全て記入し、警告の項目は、申請工場における対応を記入すること
面内ムラ		$\Delta E00 \leq 2$
基準値との差異の許容値	54色全て	平均 $\Delta E00 \leq 2$ 最大 $\Delta E00 \leq 6$
	グレースケール測色用6パッチ	平均 $\Delta Ch \leq 2.0$
	1617色全て	平均 $\Delta E00 \leq 2$ $\Delta E00 \quad 95\% \leq 4$
	最外周色226色	平均 $\Delta E00 \leq 3$
	用紙の紙白部	$\Delta E00 \leq 3$
全印刷枚数における振れ幅の許容値	500枚中、無作為抽出した15枚各パッチ平均に対する各パッチの色差	平均 $\Delta E00 \leq 1$ $\Delta E00 \quad 95\% \leq 3$
全印刷枚数における基準値との差異の許容値	標準値に対する、無作為抽出15枚平均の平均色差	平均 $\Delta E00 \leq 3.0$
階調	階調再現の限界	CMKについて Yについて
		L※ 紙白部>3% L※ 98%>ベタ b※ 紙白部<3% C※ 98%<ベタ
	ベタ上の最小網点の再現	帯部の色と円形部の色の違いを確認できること
	トーンジャンプ	著しい段差が見られないこと
見当精度と文字		全てのカラーレジがズレていないこと(ライン1本分) ボジ5ptとネガ8ptのCMK(和文)全て判読可能であること 0.5ポイントのCMKの抜き線が識別できること

デジタル印刷認証 申請から認定までの流れ

216,000円+登録料54,000円＝合計378,000円。2年ごとの更新申請時の審査料は108,000円(費用は税込み価格)。

■3ヵ月集中取得支援パッケージ

セミナーを受講した企業限定で、「3ヵ月集中取得支援パッケージ」が用意された。このパッケージは、「標準印刷認証」と「デジタル印刷認証」において、申請から3ヵ月で取得できるように申請手続きに従って事務局から電話及びメールでアドバイスをなどが行なわれる。さらに、その他様々な問い合わせなどにも対応。費用は無料。

【支援パッケージの流れ】()内は事務局のアドバイス

①申請前準備・書類審査(申請書類などのアドバイス)⇒②測色器の誤差確認⇒③事前審査⇒④測定及び判定(以上、測色器及び印刷に関するアドバイス)⇒⑤事前審査結果の通知⇒⑥本審査(本審査に関するアドバイス)⇒⑦測定及び判定⇒⑧認証取得。

この3ヵ月集中取得支援パッケージ希望の企業は、電話およびメールで申し込みができる。

■問い合わせ先

(一社)日本印刷産業機械工業会JapanColor認証制度事務局
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
TEL03-6809-1617 FAX03-3434-0301
E-Mail:jc@jpma-net.or.jp http://japancolor.jp



Color & Comfort by Chemistry






NEXT GENERATION GRAPHIC ARTS

変化する市場ニーズを多彩な技術でナビゲートする

DIC グラフィックス株式会社
ディーアイシー
<http://www.dic-graphics.co.jp/>
本 社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
電話03-6733-5001
名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-7-15
電話052-951-9335

11月は「過労死等防止啓発月間」

長時間労働削減の取り組みを推進 過重労働解消キャンペーン実施

厚生労働省では、平成26年に施行された「過労死等防止対策推進法」において、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」とし、これに合わせ、過労死などの要因である長時間労働の削減や過重労働解消に向けた集中的な周知・啓発などの取り組みを行なう「過重労働解消キャンペーン」を実施している。

厚生労働省では、労働時間などの現状について、「週の労働時間が60時間以上の労働者の割合は近年低下傾向であるが、いまだ長時間労働の実態がみられる。脳・心臓疾患に係る労災支給決定件数についても、依然として高い水準で推移するなど、過重労働による健康障害も多い状況にあるほか、割増賃金の不払いに係る労働基準法違反も後をたたない」と指摘。

また、過重労働と健康障害の関連性についても、「長時間にわたる過重な労働は、疲労の蓄積をもたらす最も重要な要因である。具体的には、時間外、休日労働が月45時間を超えて長くなるほど、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が強まる」と警鐘を鳴らしている。

こうした過重労働による健康障害を防止するため、「労働時間を適正に把握し、次の措置を講じて欲しい」としている。

□過重労働による健康障害を防止するために、「①時間外・休日労働時間を削減＝36協定（時間外労働・休日労働に関する

協定）で定める延長時間は、限度基準に適合したものとする必要がある。特別条項付き協定により、月45時間を超える時間外労働が可能な場合にも、実際の時間外労働は月45時間以下とするよう努める。休日労働についても削減に努める。②年次有給休暇の取得を促進する＝年次有給休暇を取得しやすい職場環境づくり、計画的付与制度の活用などにより、年次有給休暇の取得促進を図る。③労働者の健康管理に係る措

置を徹底する＝健康管理体制を整備するとともに、健康診断を実施。長時間にわたる時間外・休日労働を行なった労働者に対する面接指導を実施」などの推進を促している。

□賃金不払い残業を解消するためには、「①職場風土の改善、②適正に労働時間の管理を行なうためのシステムの整備、③長時間にわたる時間外、休日労働を明確化しチェック体制を整備する」などを挙げている。

【相談窓口】

○過重労働解消相談ダイヤル（0120-794-713）。

○都道府県労働局又は労働基準監督署労働条件相談ホットライン（0120-811-610）。

■過重労働解消のためのセミナー

過重労働防止対策に必要な知識やノウハウについて、企業がどのように課題解決を行なったか、そのプロセスや改善の状況、業績に与える影響などについて紹介される。

日時＝11月22日（木）14:00～16:30

会場＝アイ・エム・ワイ（imy）ホール3階大会議室 名古屋市東区葵3-7-14 TEL052-930-3922（最寄り駅：地下鉄東山線千種駅）

参加費＝無料、定員＝100名

■過労死等防止対策推進シンポジウム

過労死をゼロにして、健康で充実して働ける社会へ向け、「過労死等防止

対策推進シンポジウム」を開催する。

日時：11月20日（火）13:30～16:20

会場：名古屋国際センター 別棟ホール（名古屋市中村区那古野1-47-1）

定員：200名、参加費用：無料

プログラム：「労働時間短縮はなぜすすまないか？」、「諸外国の労働時間規制から何を学ぶか 一スウェーデン等を事例として」、「企業における労働時間短縮に向けた取り組みについて」、パネルディスカッション、過労死遺族の声など。（問い合わせ先：㈱プロセスユニーク 0120-053-006）

編集だより

■朝晩の冷え込みが身に伝える時期になりました。日本郵便からは「お年玉付き年賀はがき」発売の知らせが届きました。年

賀商戦で忙しくなりそうです。今年も残り2ヵ月です。体調を崩さないように頑張りたいものです。

■【お詫び】IGAS2018レポートの2回目をお届けするはずでしたが、誌面の都合で来月になりましたのでお知らせします。

色
の
チ
カ
ラ

人と人の
コミュニケーションに
大きく関わっている
この色のチカラで、
人の心をもっともっと
豊かにしたい……と
考えています。



色彩の。

東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

名古屋支店 〒460-0022 名古屋市中区金山1-12-14
TEL 052-331-1515（代表） FAX 052-331-1171（代表）
本社 〒114-0012 東京都北区田端新町2-7-15
TEL 03-3893-5151（平版インキ営業本部）

あいの印刷

No.564

平成30年11月10日発行

発行人 細井俊男

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

メディアージュ愛知1階

TEL (052) 962-5771

FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing

adWiSE

株式会社 アドワイズ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-15-15 ダイアパレス丸の内201

TEL 052-212-5182 FAX 052-212-5183 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz http://www.ad-wise.biz/

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



Japan.
Endless
Discovery.

インバウンドを
ビジネスチャンスにつなげる。



モリサワ

モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

インバウンド対応情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カatalog プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆる
コンテンツを多言語化し、スマート
フォンやタブレット端末に向けて、
配信するクラウドサービス。

詳しくは エムシーカatalog

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

アクアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522

Home Page http://www.axuas.jp E-mail info@axuas.jp



キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは



株式会社キングコーポレーション

本社／〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

本社／名古屋本店／東京支店／大阪支店／福岡支店／
仙台支店／横浜支店／静岡支店／金沢支店／神戸支店／
広島支店／鹿児島支店／札幌営業所／青森営業所／浜松営業所



～より強く、未来へ～

KOBUNDO

KBD NEW PRODUCTS

ラベル印刷機と後加工機のオール・イン・ワン

KBD new solution pro

迅速で正確な高速シングルパスインクジェット
プリンターにオールインワン
後加工機をプラス!

MULTI ジョブラベル印刷機



コンパクトラベル印刷機

KBD new solution mini

プロフェッショナルな
ラベル仕上がりを
完璧なデスクトップ
ソリューションで!



フィニッシングソリューション

KBD MOLLシステム

FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

ポケットホルダー、封筒、ルームキーカードホルダー、
ボトルパッケージ、小包パッケージ、CDスリーブなど
様々な形状のパッケージの加工が可能に



自走式
ストレッチフィルム包装機

KBD Motion Wrapping

- 最大99の巻き設定まで保存可能
- フィルム張力設定がコントロールパネルから可能
- 巻き始め時のフィルム張力を設定可能
- スタート、停止位置の高さを事前に設定可能
- 最大 95m/分の速度
- 自動フィルムカット搭載
- 上・下部を個別で巻き付けラップ数を設定
- 危険パンパーによる緊急停止



印刷機材の総合商社
株式会社

光 文 堂

本店／〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社／東京 支店／東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所／北海道・青森・山形
千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄